

Panasonic

TV-FM-AM 3バンドデジタルシンセサイザレシーバ
3-band Digital Synthesizer Receiver

取扱説明書

Operating Instructions

品番 RF-H760

保証書別添

- 取扱説明書と保証書は、よくお読みのうえ、大切に保管して下さい。
- 保証書は必ず「販売店名・購入日」等の記入を確かめて、販売店からお受取りください。

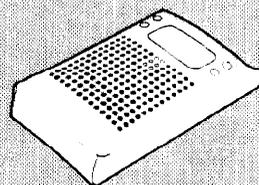
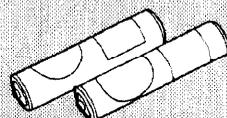
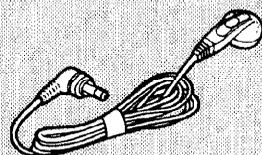
このたびはパナソニック「TV-FM-AM 3バンドデジタルシンセサイザレシーバ」をお求めいただきましてまことにありがとうございました。

目次

各部のなまえとはたらき	4~7
乾電池の入れかた	8
ホールドボタンについて	9
現在時刻を合わせるには	10~11
テレビ/ラジオを聞くには	12~29
エリアバンクを使って	12~17
● エリアバンクを使って選局するには	12~13
● エリアバンク機能メモリー番号一覧表	14~15
● エリアバンクに放送局を追加するには	16~17
エリアバンクを使わずに	18~23
● フリーエリアを使って選局するには	18~19
● 放送局をメモリー（記憶）させるには	20~21
● メモリーさせた放送局を聞くには	20~21
● 使わないメモリー番号を消すには	22~23
もっと簡単な選局（マイステーションを使って）	24~25
● マイステーションにメモリーさせるには	24~25
● マイステーションを聞くには	24~25

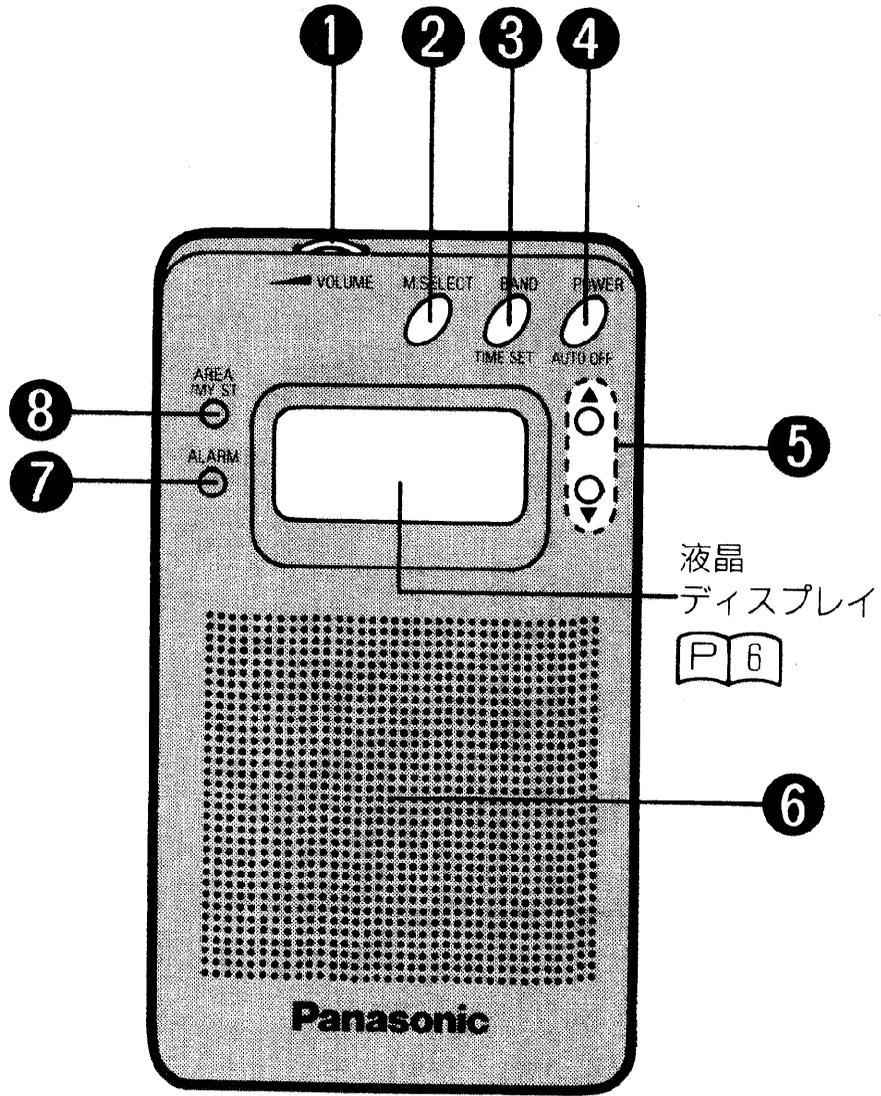
付属品

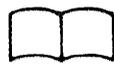
- リモコン付き
モノラルインサイドホン
- 単4形乾電池
(R03)
- キャリングケース



ぜひ知っておいてください	26~29
● よりよい受信をするには	26
● ラストワンメモリーについて	27
● 海外で受信するには	28~29
アラームを使うには	30~33
設定のしかた	30~33
● 乗り越し防止アラーム	30~31
● 目覚しスタンバイアラーム	32~33
アラーム音を途中で止めるには	33
リモコンで操作するには	34~35
ご注意	36~37
乾電池について	36
本機について	37
アフターサービス	38
定格	39
Operating Instructions	40~47

各部のなまえをひたひた



...参照ページです。

^{ボリューム}
①VOLUME (音量) つまみ

^{メモリーセレクト}
②M.SELECT (記憶選び) ボタン

あらかじめメモリーされている放送局を呼出すときや、希望の放送局をメモリーするときに使います。

^{バンド} ^{タイム} ^{セット}
③BAND/TIME SET (バンド切換/時刻設定) ボタン

^{パワー}
④POWER (電源) ボタン

押すと電源が入ります。もう一度押すと切れます。

- 電源を切忘れても、電源が入ってから90分経つと、自動的に切れます。(オートパワーオフ機能)

⑤▲/▼ボタン

受信周波数(チャンネル)または時刻表示を上げ(▲)下げ(▼)します。

⑥スピーカ

^{アラーム}
⑦ALARMボタン

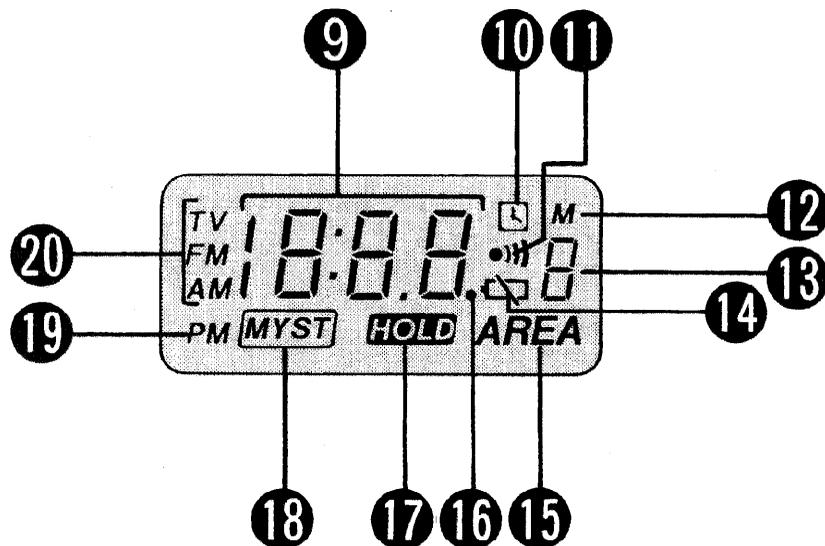


^{エリア} / ^{マイステーション}
⑧AREA/MY STボタン

押して、エリア番号を呼出すと、その地域の放送局が

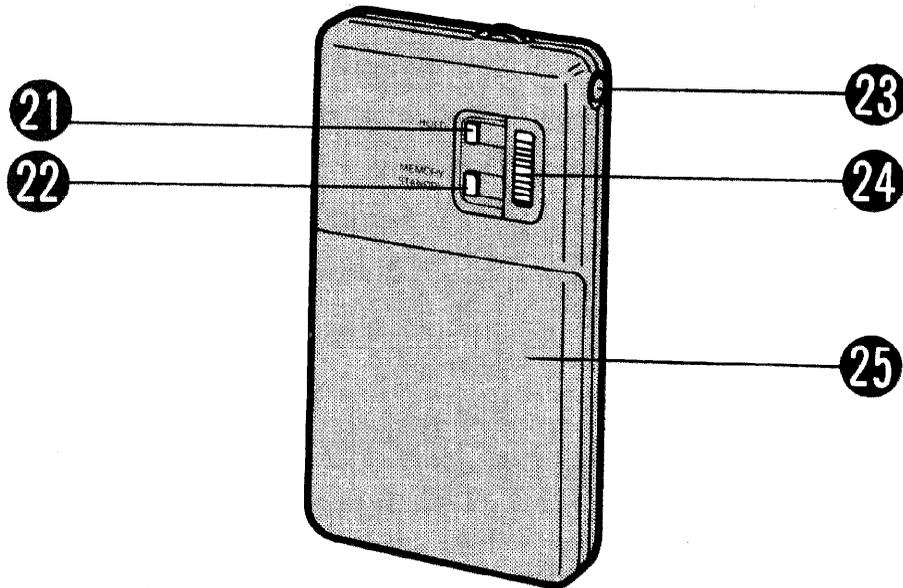
^{メモリーセレクト}
M.SELECTボタンを押すだけで受信できます。
電源が入っているときに押すと、マイステーションを受信します。 

(液晶ディスプレイ)



- ⑨マルチ表示(時刻/周波数/TVチャンネル/アラーム設定時間)
- ⑩スタンバイ表示
- ⑪アラーム表示
- ⑫メモリー表示
- ⑬エリア/メモリー番号表示
- ⑭乾電池消耗表示
- ⑮^{エリア}AREA (現在地) 表示
- ⑯秒表示
- ⑰ホールド表示
- ⑱マイステーション表示
- ⑲PM表示
- ⑳バンド表示

(裏面)



^{ホールド}
② HOLD (保持) ボタン

押すと保持（ホールド）状態になり、各操作ボタンを押しても動きません。

操作するときは、もう一度押して、解除してください。  P9

^{メモリー} ^{スタンバイ}
② MEMORY/STANDBY ボタン

目覚しスタンバイを設定するために使います。  P32
電源が入っているときは、希望の放送局をメモリーするために使います。

③ インサイドホン端子 ()

付属のインサイドホンを接続します。

インサイドホン使用時のお願い

耳を刺激するような音量で、長時間続けてお聞きになることは避けてください。

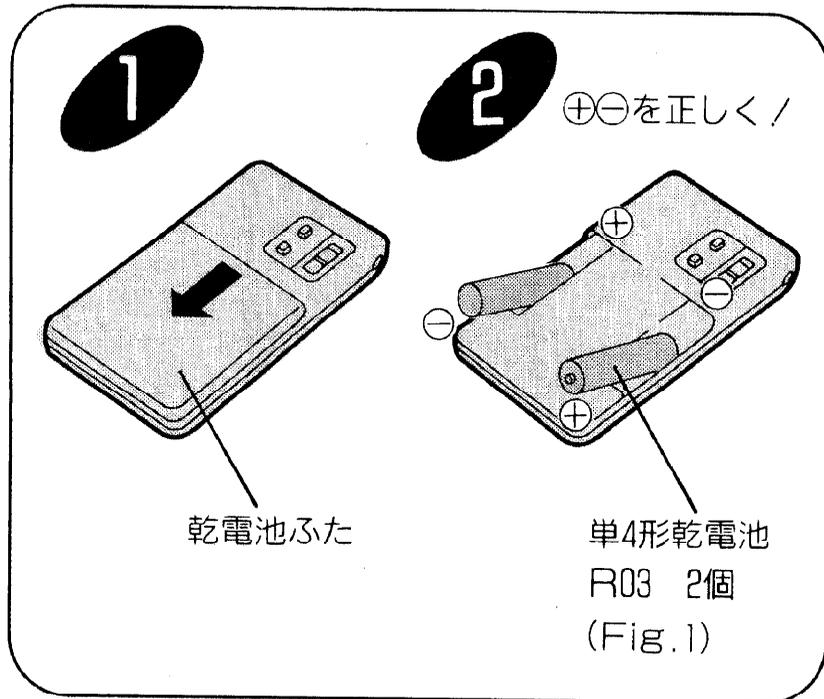
④ インサイドホン/スピーカ切換スイッチ
( / )

 ……付属のインサイドホンで聞くととき

 ……内蔵のスピーカで聞くととき

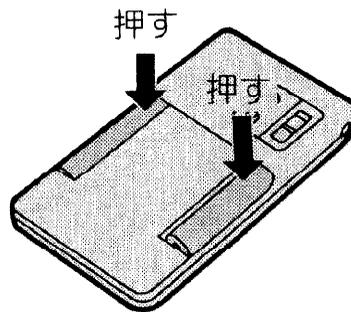
⑤ 乾電池ふた

乾電池の入れかた



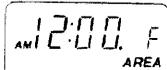
乾電池の取出しかた

矢印の部分を押すと電池が浮上がり、容易に取出せます。



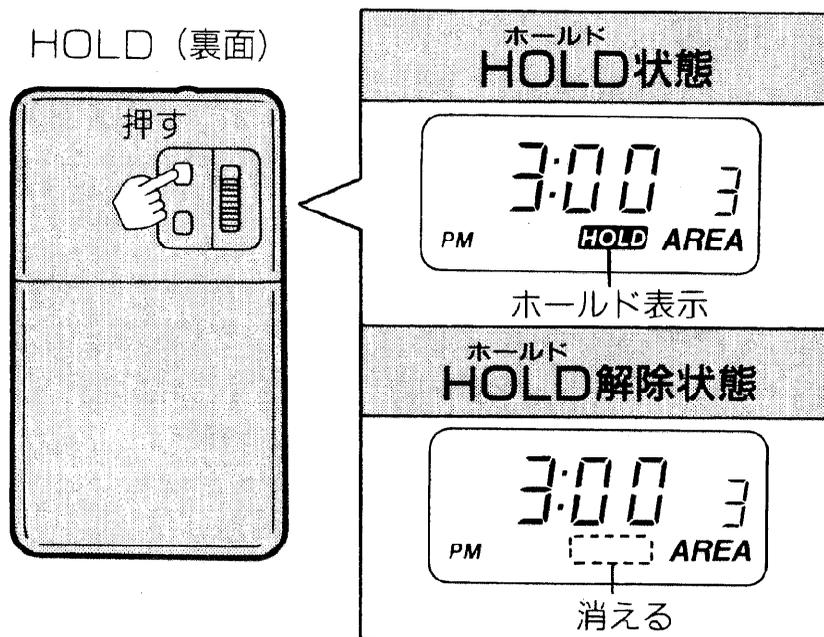
(Fig.2)

お買上げ後、はじめて乾電池を入れたときは、ディスプレイの“AM12:00”が点滅します。

 ➔ 時刻を合わせるには 

乾電池の取替時期やご注意は 

ホールドボタンについて



誤動作を防ぐためのボタンです。

^{ホールド}
HOLDボタンを押すと、本体の各操作ボタンが保持状態となり、押しても動作しません。液晶ディスプレイに **HOLD** が表示されます。

^{ホールド}
(HOLD状態)

- リモコンには働きません。
- 再び押すと解除されます。

ボタン操作する前には

^{ホールド}
必ずHOLD状態を解除してください。
(**HOLD** 表示が消えます。)

ボタン操作後は

誤動作や誤動作による電池の消耗を防ぐために、^{ホールド}
HOLD状態にしておくことをおすすめします。

現在時刻を合わせるには

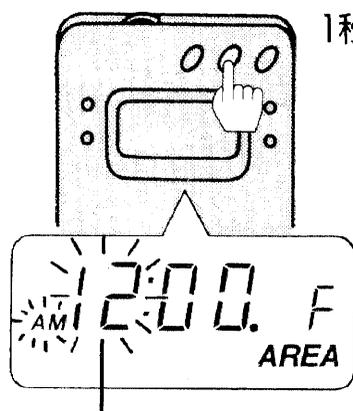
確認

ホールド

- ①HOLD解除状態
- ②電源切状態

1

TIME SET



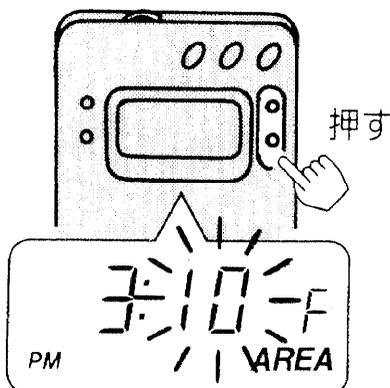
1秒以上押す

時表示が点滅している間
(5秒以内)

時表示点滅

4

“分” を合わせる



押す

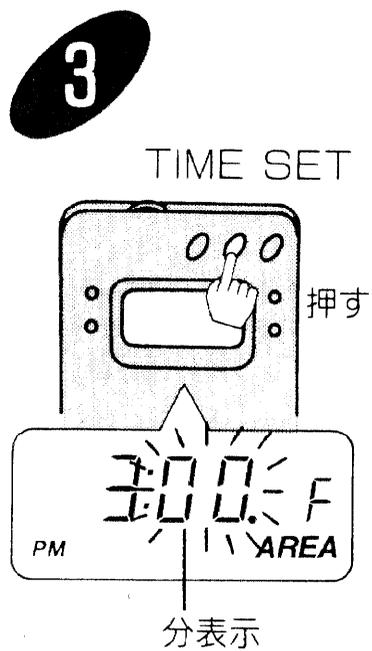
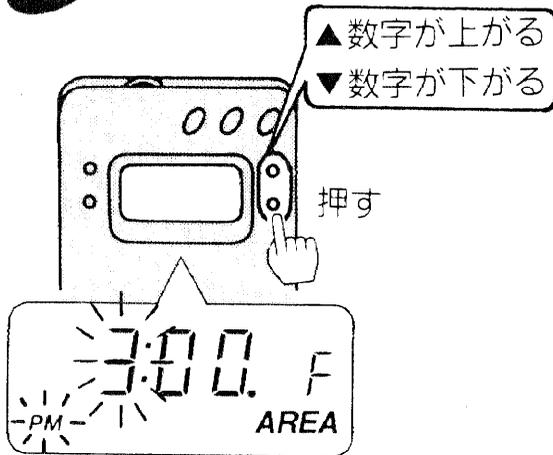
分表示が点滅している間
(5秒以内)

●12時間表示です。

“AM”（午前）と“PM”（午後）を間違えないようにセットしてください。

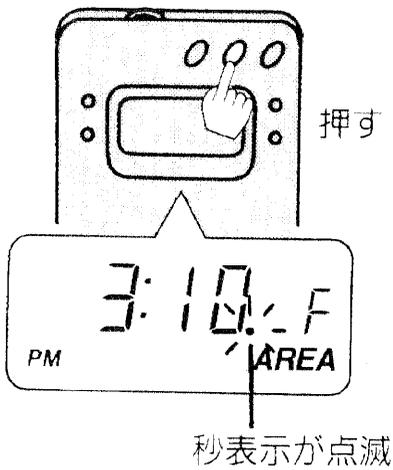
“AM12:00”は深夜、“PM12:00”は正午です。

2 “時” を合わせる



5

TIME SET



- ラジオをお聞きにならないとき、または乾電池が消耗したときは時刻表示になります。

エリアバンクを使って

エリアバンクとは？

東京・名古屋・大阪・札幌・仙台・広島・福岡・(JR)地域の放送局が、あらかじめメモリ(記憶)されていて、簡単に呼出し、聞くことができる機能です。

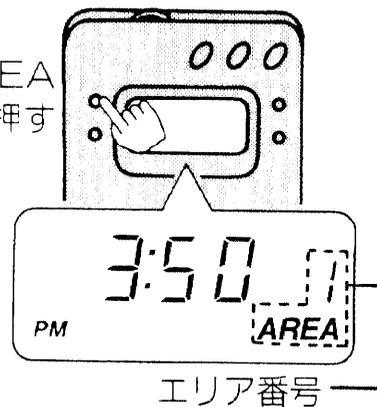
エリアバンクを使って選局するには

- 1 エリア(現在地)番号を選ぶ
(下の図をご覧ください。)

確認

- 1 HOLD解除状態
- 2 電源切状態

AREA
押す

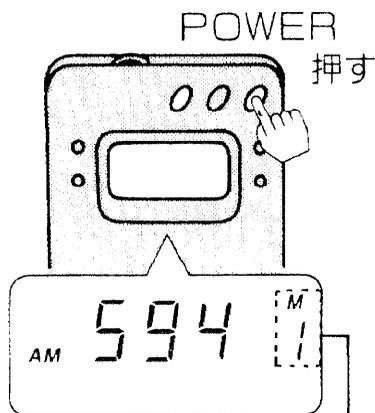


エリア番号一覧図



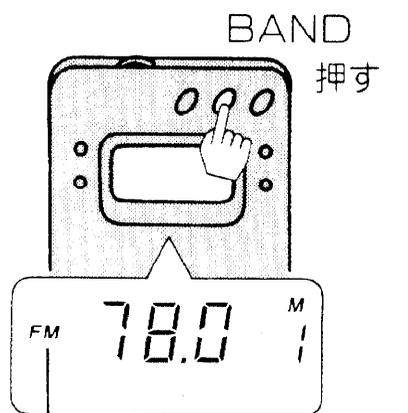


2 電源を入れる



メモリー番号

3 希望のバンドを選ぶ



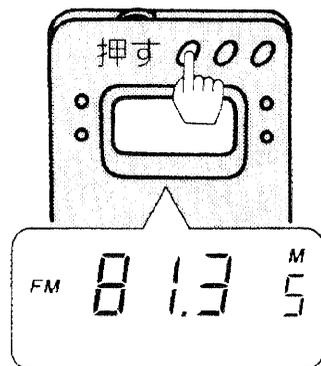
バンド表示

AM→FM→TV

● AMに戻ると“ピピ”と2回音が鳴ります。

4 希望のメモリー番号を選ぶ (14~15ページの表をご覧ください)

M.SELECT



1→2→3→4→5→6→7

● メモリー番号が“1”に戻ると
“ピピ”と2回音が鳴ります。

エリアバンク機能メモリー番号 一覧表

1. 東京(TOKYO)

メモリー番号	AM放送	kHz	FM放送	MHz	TV放送	ch
M1	NHK第一	594	FMサウンド千葉	78.0	NHK	1
M2	NHK第二	693	FM富士	78.6	NHK教育	3
M3	FEN	810	FM埼玉	79.5	日本テレビ	4
M4	東京放送	954	FM東京	80.0	東京放送	6
M5	文化放送	1,134	FMジャパン	81.3	フジテレビ	8
M6	ニッポン放送	1,242	NHK-FM東京	82.5	テレビ朝日	10
M7	RFラジオ日本	1,422	横浜FM	84.7	テレビ東京	12

2. 名古屋(NAGOYA)

メモリー番号	AM放送	kHz	FM放送	MHz	TV放送	ch
M1	NHK第一	729	三重FM	78.9	東海テレビ	1
M2	NHK第二	909	FM愛知	80.7	NHK	3
M3	中部日本放送	1,053	NHK-FM愛知	82.5	中部日本放送	5
M4	東海ラジオ	1,332			NHK教育	9
M5	岐阜放送	1,431			名古屋テレビ	11

3. 大阪(OSAKA)

メモリー番号	AM放送	kHz	FM放送	MHz	TV放送	ch
M1	ラジオ関西	558	FM802	80.2	NHK	2
M2	NHK第一	666	FM大阪	85.1	毎日放送	4
M3	NHK第二	828	NHK-FM神戸	86.5	朝日放送	6
M4	朝日放送	1,008	NHK-FM大阪	88.1	関西テレビ	8
M5	KBS京都	1,143	兵庫FM	89.9	読売テレビ	10
M6	毎日放送	1,179			NHK教育	12
M7	ラジオ大阪	1,314				

4. 札幌(SAPPORO)

メモリー番号	AM放送	kHz	FM放送	MHz	TV放送	ch
M1	NHK第一	567	FM北海道	80.4	北海道放送	1
M2	NHK第二	747	NHK-FM札幌	85.2	NHK	3
M3	北海道放送	1,287			札幌テレビ	5
M4	STVラジオ	1,440			NHK教育	12

5. 仙台(SENDAI)

メモリー番号	AM放送	kHz	FM放送	MHz	TV放送	ch
M1	NHK第一	891	FM仙台	77.1	東北放送	1
M2	NHK第二	1,089	NHK-FM仙台	82.5	NHK	3
M3	東北放送	1,260			NHK教育	5
M4					仙台放送	12

6. 広島(HIROSHIMA)

メモリー番号	AM放送	kHz	FM放送	MHz	TV放送	ch
M1	NHK第二	702	広島FM	78.2	NHK	3
M2	NHK第一	1,071	NHK-FM広島	88.3	中国放送	4
M3	中国放送	1,350			NHK教育	7
M4	山陽放送	1,494			広島テレビ	12

7. 福岡(FUKUOKA)

メモリー番号	AM放送	kHz	FM放送	MHz	TV放送	ch
M1	NHK第一	612	FM福岡	80.7	九州朝日放送	1
M2	NHK第二	1,017	NHK-FM福岡	84.8	NHK	3
M3	RKB毎日放送	1,278			RKB毎日放送	4
M4	九州朝日放送	1,413			NHK教育	6
M5					テレビ西日本	9

8. 新幹線(JR)

東京～博多の一部で実施されている車内FM放送

メモリー番号	FM放送	MHz
M1	1チャンネル	76.0
M2	2チャンネル	76.6
M3	3チャンネル	77.5
M4	4チャンネル	78.8
M5	5チャンネル	79.6

- 車内FM放送サービスは、2階建車両を連結している新タイプの列車で実施されていますが、2階建車両及びグリーン車内では実施されていません。

エリアバンクに放送局を追加するには

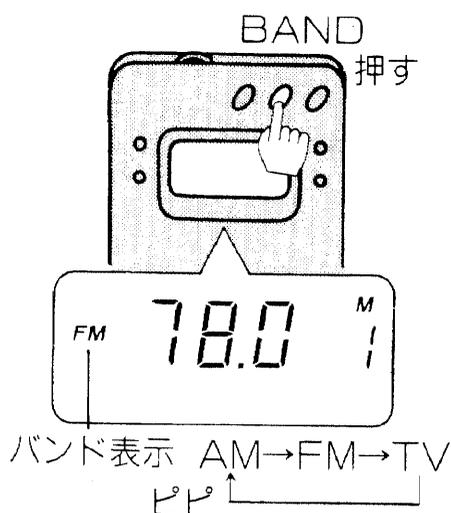
あなたのご希望の放送局をエリアバンク（フリーエリアを除く）に追加することができます。各バンドごとに1局だけ登録でき、どのエリアでも、呼出すことができます。新しく開局された放送局をメモリーするのに便利です。

1 追加する放送局のバンドを選ぶ

確認

- ホールド
- 1 HOLD解除状態
 - 2 “F”と“8”以外の
エリア表示

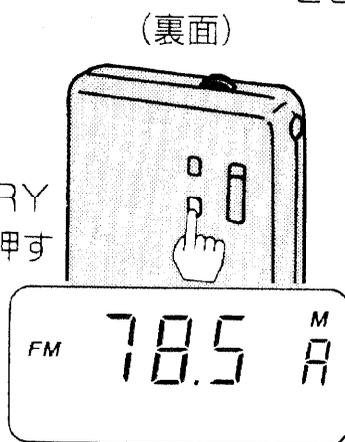
- ↓
- 3 電源入



4

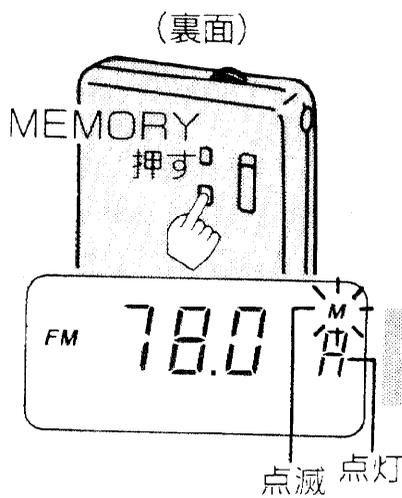
MEMORY 押す

Mが点滅
している間
5秒以内



- 各エリアバンクの最後にメモリー番号“R”として追加されました。

2

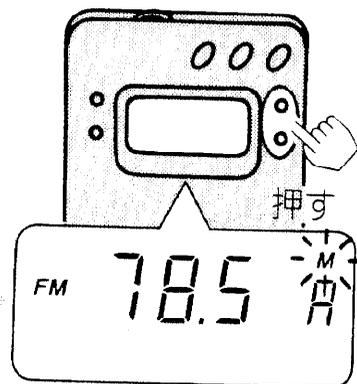


Mが点滅
している間
5秒以内

3

選局する

P18



- 追加したメモリー番号(P)は、P22~23と同じ方法で消すことができます。
(エリア表示はF以外を選んでください。)

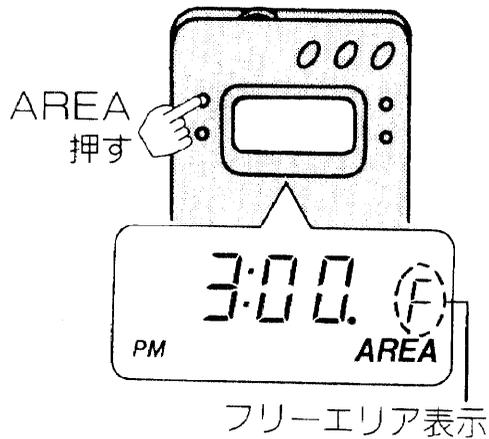
エリアバンクを使わずに

フリーエリアを使って選局するには

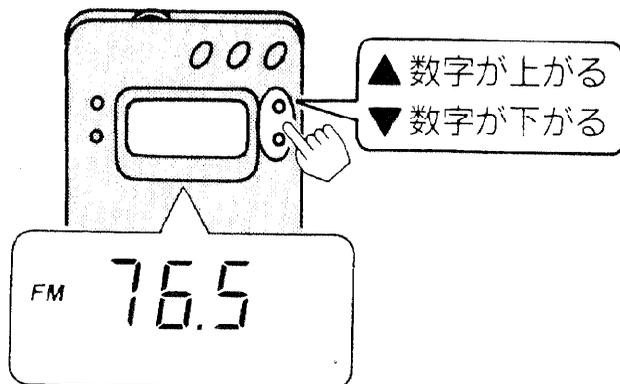
1 エリア
AREAボタンを押して
フリーエリア表示を選ぶ

確認

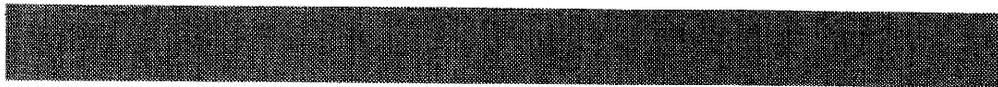
- ① ホールド HOLD解除状態
- ② 電源切状態



4 希望の放送を選ぶ

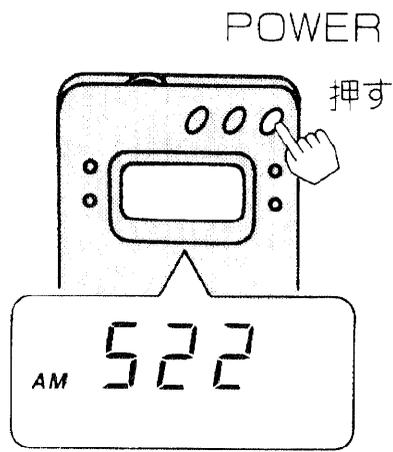


- 押し続けると数字は連続的に進みます。
- 一度ずつ押し続けると、押すたびに受信周波数（チャンネル）は次のようなステップで変わります。
TV: 1ch FM: 0.1MHz AM: 9kHz



2 電源を入れる

3 希望のバンドを選ぶ



放送局をメモリー（記憶）させるには

ご希望の放送局をメモリーしておく、あとは簡単に呼出すことができます。

各バンドごとにそれぞれ7局までメモリーできます。

1 (裏面)

確認

- ① ホールド HOLD解除状態
- ② エリア表示 “F”
- ③ 希望の放送局受信

押す

点滅

Mが点滅している間
5秒以内

メモリーさせた放送局を聞くには

- 1** フリーエリアを選ぶ
- 2** 電源を入れる

確認

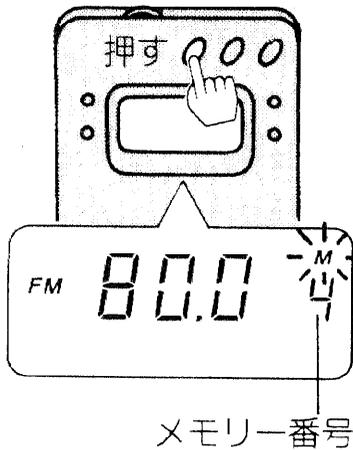
- ① ホールド HOLD解除状態
- ② 電源切状態

AREA 押す

POWER 押す

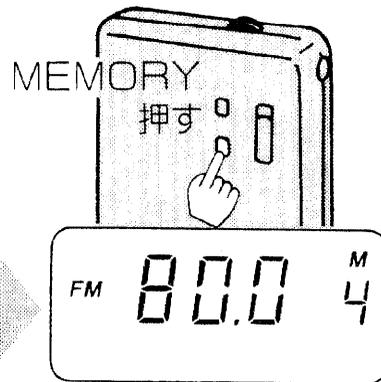
フリーエリア表示

2 メモリー番号を選ぶ
M. SELECT



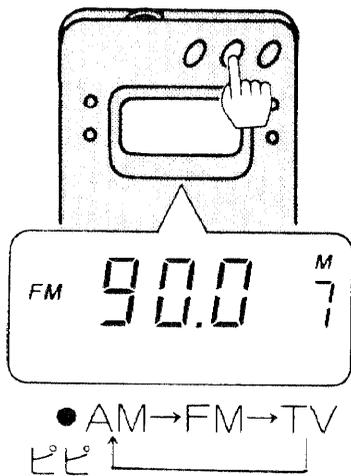
Mが点滅している間
5秒以内

3 (裏面)

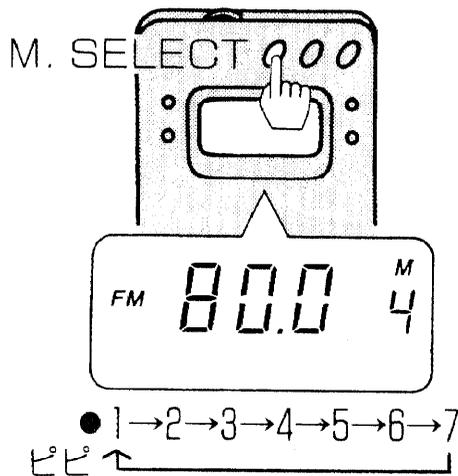


- フリーエリアにメモリーされました。

3 バンドを選ぶ
BAND



4 メモリー番号を選ぶ



使わないメモリー番号を消すには

使わないメモリー番号を消しておくで、メモリー番号を選ぶときの手間がはぶけて便利です。

1

消したいメモリー番号のバンドを選ぶ

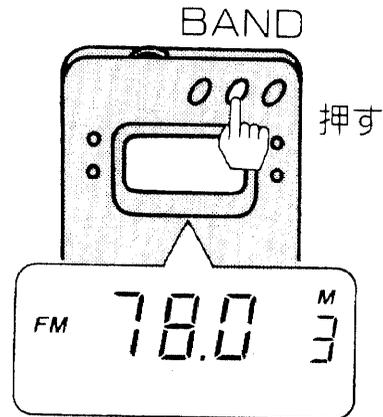
確認

ホールド

- 1 HOLD解除状態
- 2 エリア表示 “F”

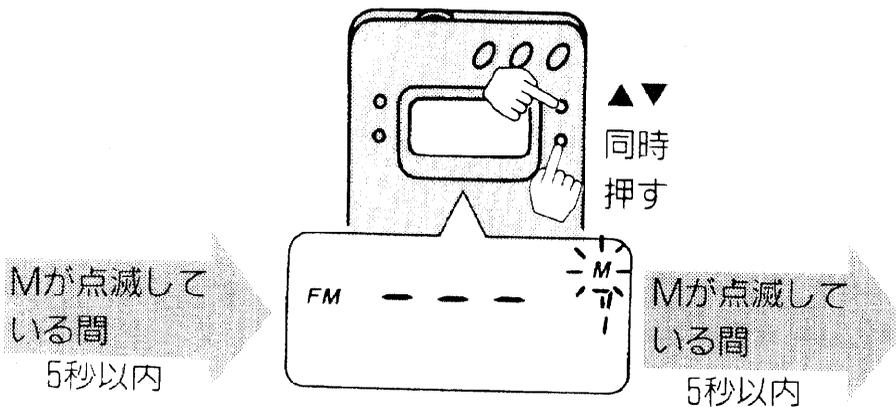


- 3 電源入



4

▲▼同時に押す

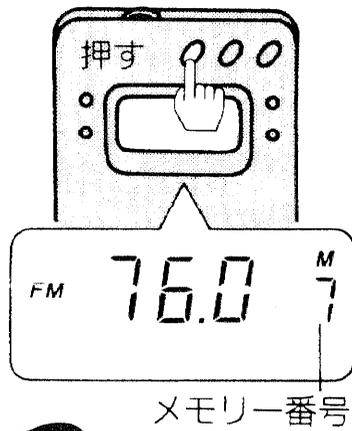


メモリー番号を消して、^{メモリーセレクト}M.SELECTボタンを押すと、取消されたメモリー番号をとびこして、選局します。

2

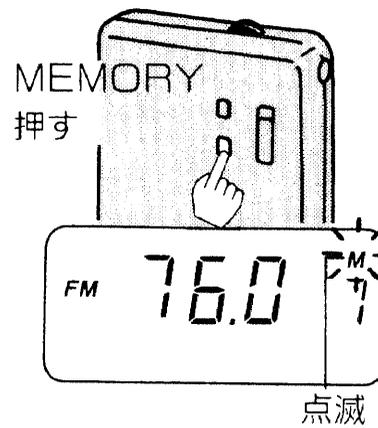
消したいメモ
リ番号を選ぶ

M.SELECT

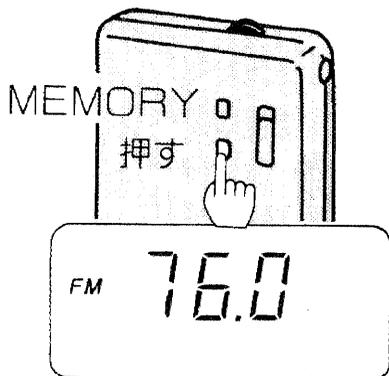


3

(裏面)



5



- 消したメモリー番号は、新しく記憶させると再び使えます。
- “A”以外のエリアバンクのメモリー番号は、消すことができません。

もっと簡単な選局 (マイステーションを使って)

マイステーションにメモリーさせるには

1 (裏面)

確認
 ホールド
 ① HOLD解除状態
 ② 電源入
 ③ **MYST** 表示を消す
 ④ 希望の放送を受信

点滅
Mが点滅している間
5秒以内

エリアバンクを使って選局したときのみ 現れます。

マイステーションを聞くには

ホールド
HOLD解除状態から

1 電源を入れる

POWER 押す

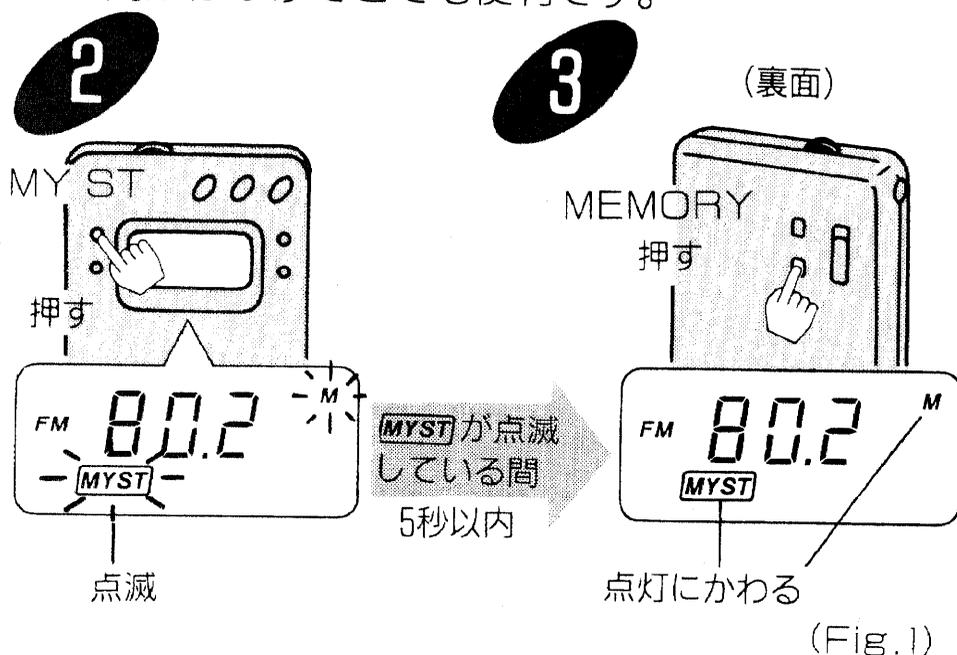
2

MYST 押す

点灯します (Fig.2)

あなたがよく聞く放送局を1局だけマイステーションにメモリーさせてください。

あとはMY ^{マイステーション}STボタンを押すだけで、呼出すことができます。エリアやバンドやメモリー番号を選ぶ手間がはぶけてとても便利です。



- 再び ^{マイステーション}MYST ボタンを押すと **MYST** 表示が消え、マイステーション受信の前の受信状態になります。
- マイステーション受信のまま電源を切ると次に電源を入れたときも、マイステーションを受信します。(ラストワンメモリー)
このとき“ピピ”という音が出ます。

—マイステーションから他の放送に切換えたいとき—

必ず電源が入っている状態で ^{マイステーション}MYST ボタンを押して **MYST** 表示を消してください。

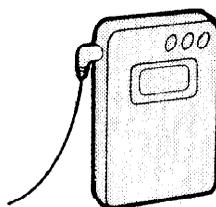
MYST 表示が出ている状態では、どのボタンを押しても切換わりません。

ぜひ知っておいてください

よりよい受信をするには

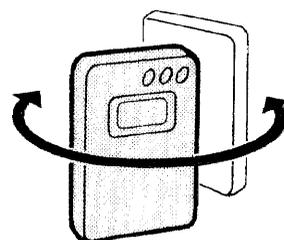
TV・FM放送を聞くとき

インサイドホンコードがアンテナとして働きます。できるだけ伸ばしてお使いください。スピーカで聞くときも同様です。

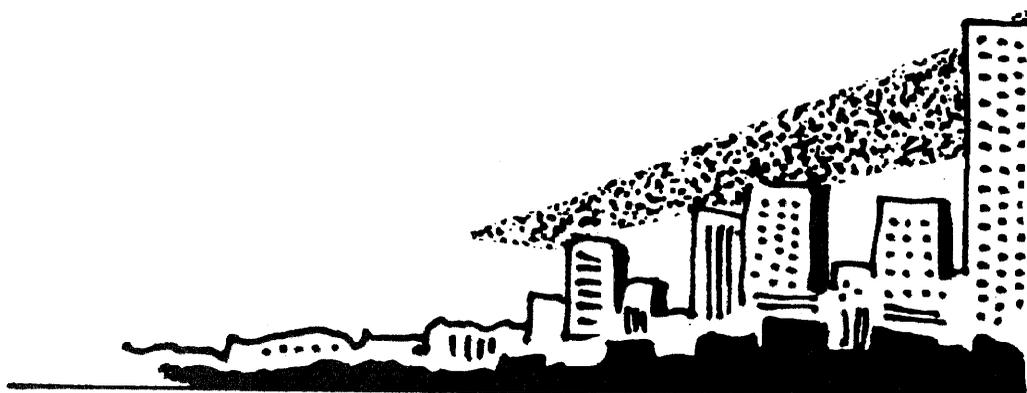


AM放送を聞くとき

内蔵のフェライトアンテナが働きます。本機の向きを変えて、最もよく聞こえるように調整してください。



乗物や建物などの中では、電波が弱まり聞こえにくくなる場合がありますのでできるだけ窓ぎわでお聞きください。なお、トンネル内や地下鉄など、電波の弱いところでは聞こえないことがあります。



ラストワンメモリーについて

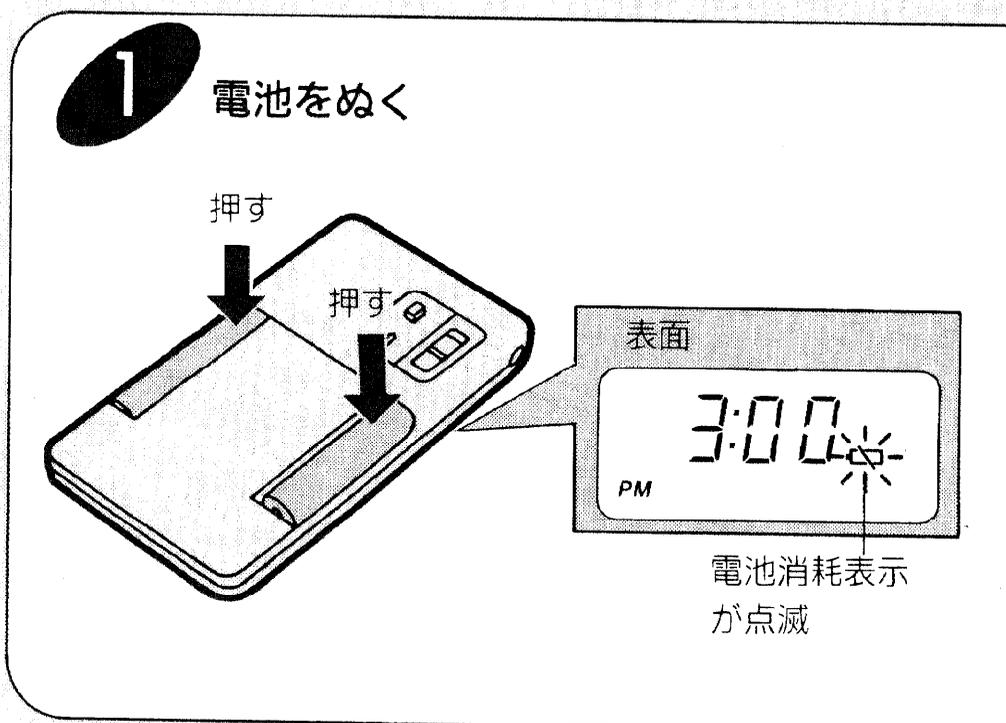
電源を切っても最後に受信していた放送局は、記憶していますので、次に電源を入れると、同じ放送局を受信します。

また、バンドを切換えても、各バンドで最後に受信していた放送局を記憶しています。



海外で受信するには
AMの受信周波数のステップが、9kHzと10kHz
の国があります。9kHzステップの地域では、AM・
FMとも通常通りご使用いただけます。
ただし、10kHzステップの地域では、下記の操作
を行ってからお使いください。

- メモリーされた周波数（あらかじめメモリーされて
いるエリアバンクは除く）は消えます。



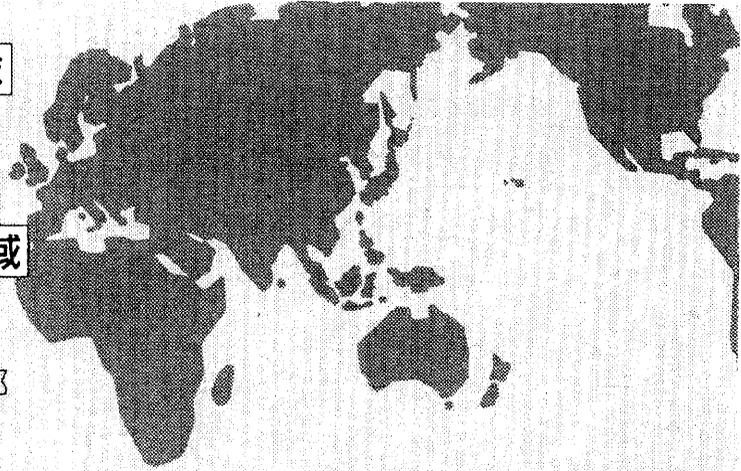
- 10kHzステップ切替えになりました。
(AM520~1710kHz)
このとき、TVバンドは出ません。

AM9kHz地域

日本国内
東南アジア
ヨーロッパ

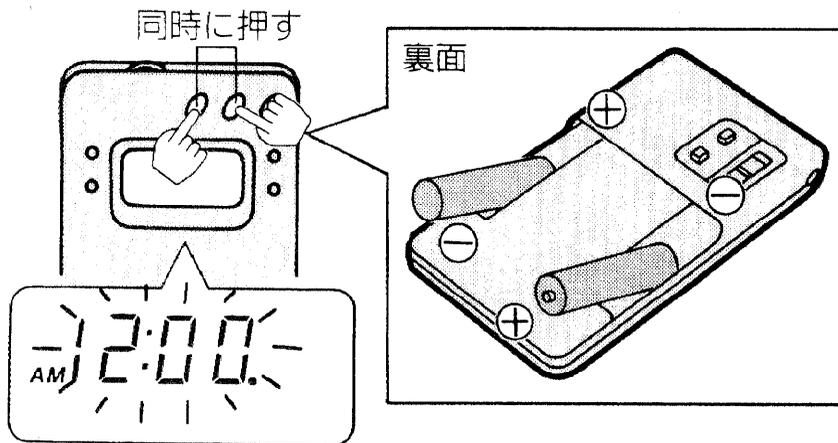
AM10kHz地域

北米
中南米
東南アジアの一部



2

メモリーセレクト バンド
M. SELECTとBANDボタンを
同時に押しながら電池を入れる。



9kHzステップに戻すには

次の操作をすると、お買い上げ時の設定に戻ります。
2つの方法があります。

電池をぬく

1. 電池消耗表示が点滅している間に上記 2 の操作をする。
- or
2. 表示が全て消えるまで（約2分）、そのままにしておく。

アラームを使うには

本機には、2つのアラーム機能があります。

乗り越し防止アラーム…

設定した時間が経つとアラーム音（ピーピー音）が3分間鳴り続けます。

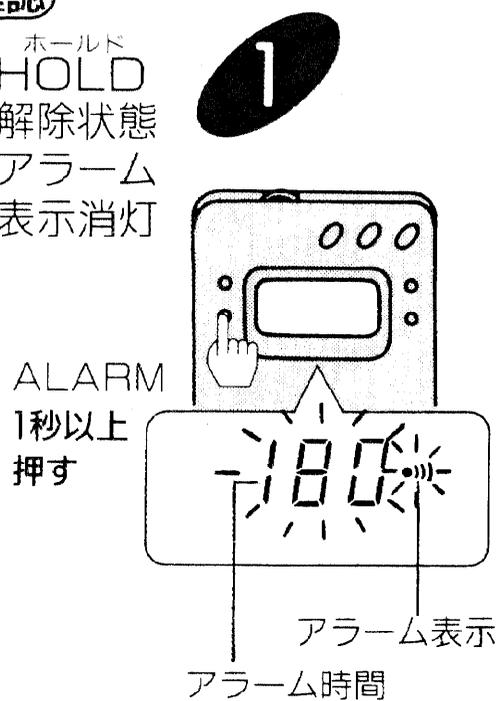
電車に乗車中、降りる駅の少し前の時間にアラーム音が鳴るようにセットすれば、乗り越し防止になります。

設定のしかた

乗り越し防止アラーム

確認

- ① ^{ホールド}HOLD
解除状態
- ② アラーム
表示消灯

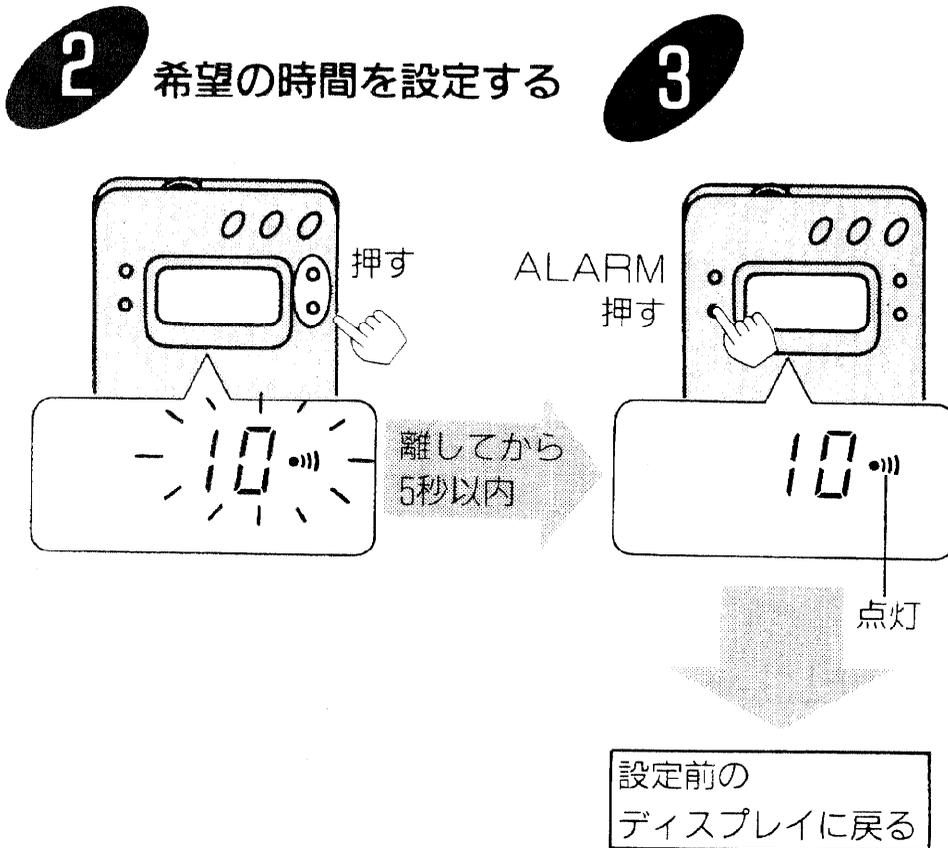
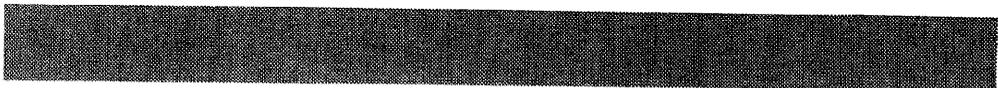


アラーム表示が
点滅している間

5秒以内

目覚しスタンバイアラーム…

設定した時刻になるとアラーム音（ピーピー音）が3分間鳴り続けます。目覚し時計として使用すると便利です。



●アラーム表示は残ります。

設定を取消すには…もう一度アラームボタンを押します。アラーム表示が消え、アラーム設定が取消されます。

目覚しスタンバイアラーム

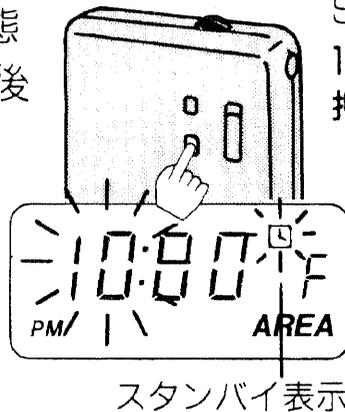
1

例. AM6:30に設定する

確認

- ① ホールド HOLD解除状態
- ② 時刻合わせ完了後
- ③ 電源切状態
- ④ スタンバイ表示
消灯

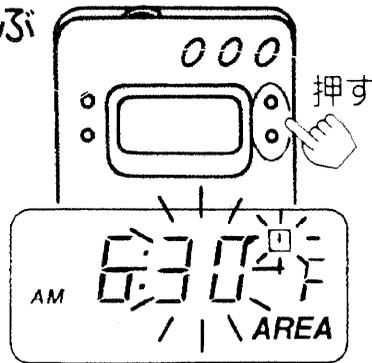
(裏面)



STANDBY
1秒以上
押す

表示が点滅
している間
(5秒以内)

4 “分” を選ぶ



分表示が点滅
している間
(5秒以内)

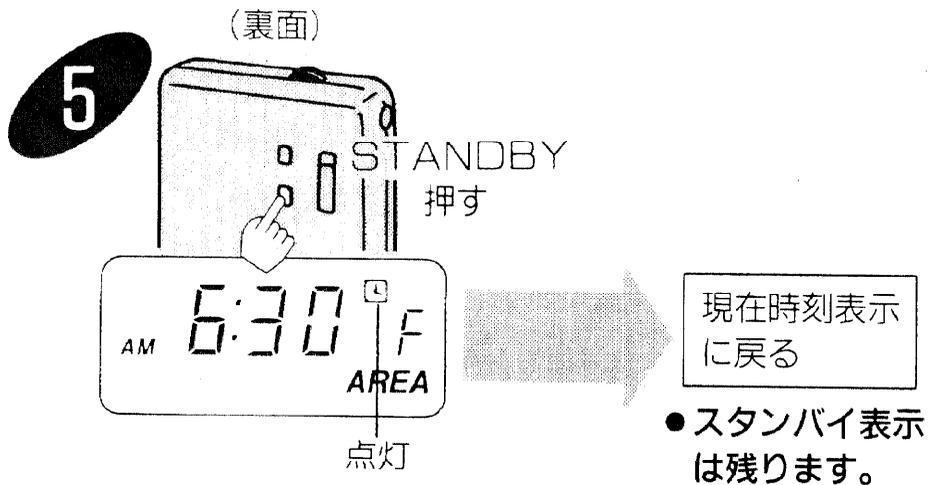
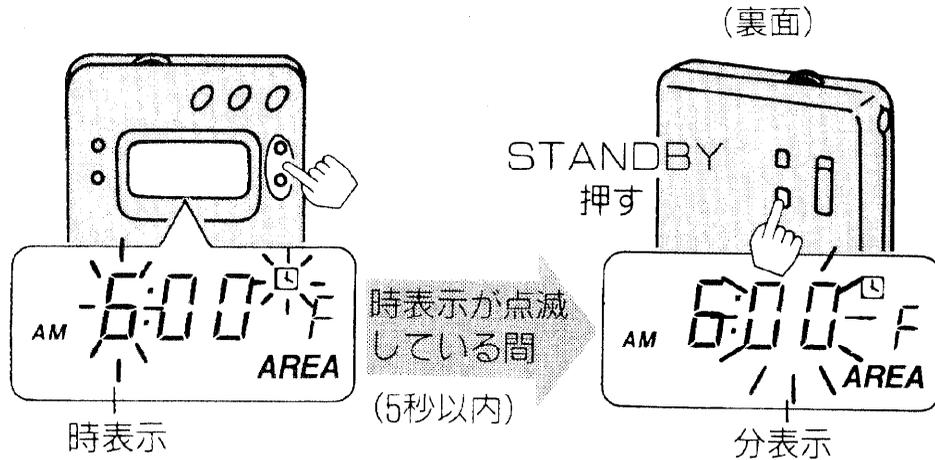
離してから
5秒以内

- インサイドホン/スピーカ切換えスイッチを (インサイドホン) にすると、スピーカからのアラーム音はでません。
- 一度設定した時間は、時間設定を変えるまで記憶していますので、次からは、アラームボタンまたはスタンバイボタンを押すだけでセットできます。

2

“時”を選ぶ

3



設定を取消すには…もう一度スタンバイボタンを押します。スタンバイ表示が消え、スタンバイ設定が取消されます。

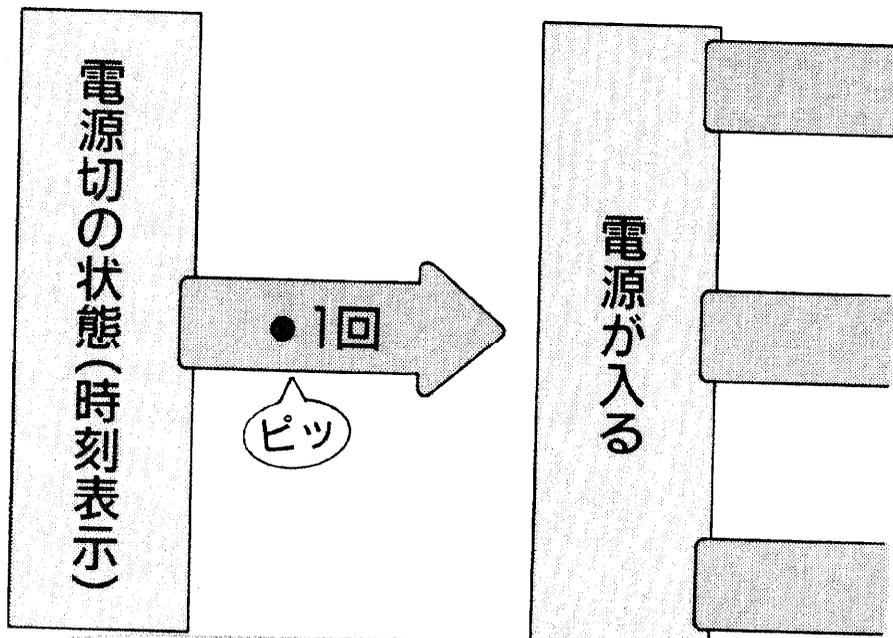
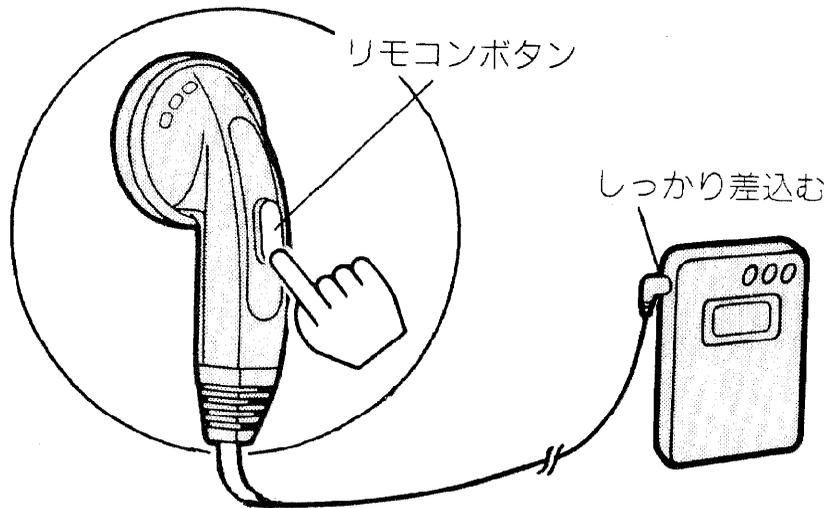
アラーム音を途中で止めるには

本体操作ボタンまたはリモコンボタンを押してください。(どのボタンを押しても止まります。)

リモコンで操作するには

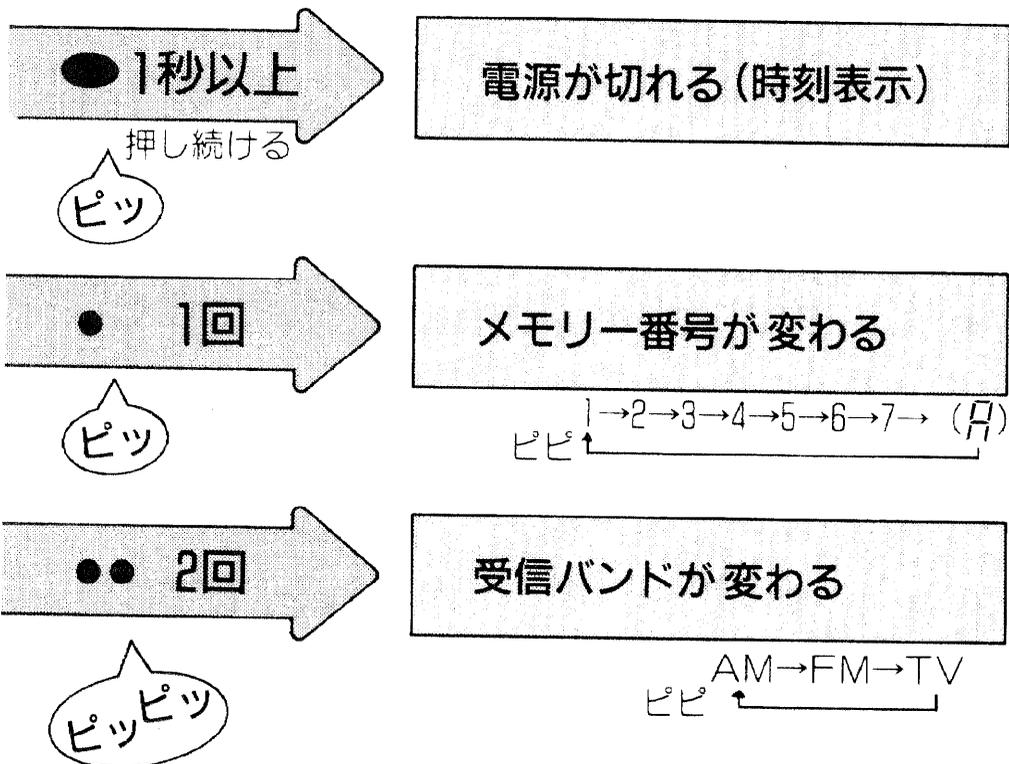
インサイドホンのリモコンボタンを押す回数や押しかたによって、動作を切替えることができます。

本体が^{ホールド}HOLD状態でも操作できます。
リモコンボタンを押すと“ピッ”という操作音がなります。



セットを使用しないときは、誤ってリモコンボタンが押されて電源が入るのを防ぐためにインサイドホン本体から抜いておいてください。

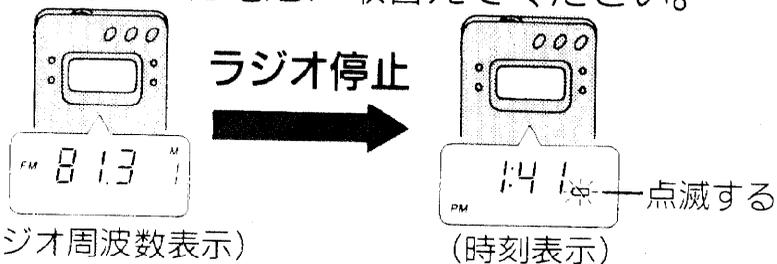
確認音 (各操作の後に出ます。)	
メモリー番号/ 受信バンドの切換え	ピ
メモリー番号の切換えで "1"に戻ったとき	ピピ
バンド切換えで AMに戻ったとき	



乾電池について

取替え時期

ラジオ受信中に乾電池が消耗すると、音声が届かなくなり、表示が点滅を始めます。2個とも新しい乾電池に取替えてください。



- 乾電池の持続時間は、39ページの定格をご覧ください。
- 乾電池を取出しても約30秒は、メモリー内容を保持しています。その間に新しい乾電池を入れると改めてメモリーする必要はありません。

乾電池は使いかたを誤ると破裂や破損、液もれのおそれがあります。次のことは必ずお守りください。

- 新しい乾電池と使用した乾電池は混用しないでください。
- ⊕プラスと⊖マイナスは正しく入れてください。
- 火の中への投入や、ショート（短絡）、分解、加熱などしないでください。
- 乾電池は充電式ではありません。
- 同じ種類の乾電池を使用してください。

自動的に電源が切れてしまったときは

本機は乾電池が消耗すると、時計やメモリーを保持するための保護回路が働き、ラジオの電源が切れてディスプレイにが表示されます。

音量を上げると電源が切れたり、聞き始めてすぐに電源が切れるときは、乾電池を交換してください。

本機について

- 次のような場所での使用や放置は避けてください。
 1. 閉めきった自動車内・暖房器の付近
 2. 風呂場など湿気の多い所
 3. ほこりの多い所
 4. 金属製の机の上、電卓やたばこの銀紙などの金属の近く
- 本機を落としたり、強い衝撃をあたえないでください。
- キャッシュカードや定期券などの磁気カード類、録音テープ、時計などを近づけないでください。
- 異なる表示をしたり、正常な動作をしない場合は、乾電池を全部取出し、約2分経過後に入れ直してください。
- 本機を0°C前後から暖かい場所へ急に移したとき、正常に動作しないことがあります。これは、本機の動作部に露が発生したためで、約60分で正常に戻ります。
- 時計精度は室温において月差約1分です。

液晶表示について

本機のディスプレイは、液晶を使用していますので極端な高、低温の場所で使用しますと表示が異常になったり、表示速度が遅くなったりすることがあります。(常温に戻せばもとに戻ります。)

お手入れのしかた

本機が汚れたときは、乾いた布でふいてください。汚れがひどいときは、布を水でしめらせるか、石けん水を少し布につけてふいてください。ベンジンやシンナーでふいたり、殺虫剤をかけますと、「ひび割れ」や「くもり」を生じることがありますので避けてください。

■保証書（別に添付してあります。）

保証書は必ず「販売店名・購入日」などの記入を確かめて販売店から受取っていただき、内容をよくお読みの後大切に保管してください。

保証期間——ご購入日から1年間。

■修理を依頼されるとき

もう一度取扱説明書をよくお読みいただき、直らないときには次の処置をしてください。

- 保証期間中は
おそれいりますが、製品に保証書を添えて、お求めの販売店までご持参ください。
保証書の規定に従って販売店で修理させていただきます。
- 保証期間が過ぎているときは
お求めの販売店に、まずご相談ください。
修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。

■補修用性能部品の最低保有期間

本機の補修用性能部品（機能維持のために必要な部品）の最低保有期間は、製造打切り後6年です。この期間は通商産業省の指導によるものです。

■アフターサービスなどについて、おわかりにならないとき

お求めの販売店または最寄りの「ご相談窓口」（別紙ご参照）にお問合わせください。

定格

受信周波数：TV：1～12ch
FM：76～108MHz
AM：522～1629kHz(9kHzステップ)
520～1710kHz(10kHzステップ)

スピーカ：3.6cm 丸形 8Ω

出力端子：インサイドホン (16Ω)

実用最大出力：100mW (EIAJ/DC)

電池持続時間：●スピーカ使用

TV受信時：13時間 (EIAJ)

FM受信時：13時間 (EIAJ)

AM受信時：19時間 (EIAJ)

●インサイドホン使用

TV受信時：19時間 (EIAJ)

FM受信時：19時間 (EIAJ)

AM受信時：33時間 (EIAJ)

(ナショナルネオ《黒》R03使用時)

電源：DC3V (単4形乾電池2個使用)

最大外形寸法：55(W)×98.5(H)×16.2(D)mm
(EIAJ)

重量：85g (乾電池を含む)

この定格は性能向上のため変更することがあります。

※本機のTV受信回路はFM受信回路と兼用しております。
このため、地域によってはテレビの2または3チャンネルの音声受信時にFM放送が混信することもあります。

Thank you very much for purchasing this unit. For optimum performance, please read these instructions carefully. Also, please see the illustrations put in the Japanese instructions.

Names and Functions of Controls (See pages 4–7.)

- ① **Volume Control**
- ② **Memory Select Button (M.SELECT)**
- ③ **Band/Time Set Button (BAND/TIME SET)**
- ④ **Power Button (POWER)**
Press to turn on the radio. Press again to turn off.
 - If leaving it turned on, this unit will turn off automatically after 90 minutes.
- ⑤ **Up/Down Button**
Press to go up or down the figure of the frequency or time.
- ⑥ **Speaker**
- ⑦ **Alarm Button (ALARM)**
- ⑧ **Area/My Station Button (AREA/MY ST)**
- ⑨ **Multi Display**
- ⑩ **Standby Indicator**
- ⑪ **Alarm Indicator**
- ⑫ **Memory Indicator**
- ⑬ **Area/Memory Channel Indicator**
- ⑭ **Battery Consumption Indicator**
This will flash on and off during radio operation when the batteries are weak. At that time, replace the batteries with new ones.

- ⑮ **Area Indicator**
- ⑯ **Second Indicator**
- ⑰ **Hold Indicator**
This appears when the unit is in the hold state.
- ⑱ **My Station Indicator**
- ⑲ **PM Indicator**
- ⑳ **Band Indicator**
- ㉑ **Hold Button (HOLD)**
Press to set the unit in hold state. The Hold Indicator will appear on the display and the present condition will be held. This is useful to prevent the unexpected operation.
Press again to release the hold state.
Before operation, be sure to release the hold condition.
- ㉒ **Memory/Standby Button (MEMORY/STANDBY)**
- ㉓ **Earphone Jack ()**
- ㉔ **Earphone/Speaker Selector ( / )**
- ㉕ **Battery Cover**

Accessories (See page 3.)

- Earphone with Remote Controller
- Batteries
- Carrying Case

Battery Installation (See page 8.)

Install the batteries as shown in Fig. 1.
When removing, press the each part of the batteries as shown in Fig. 2.

How to Set the Time

(See pages 10–11.)

Preparation: A; hold off,
B; power off

1. Press and hold the Time Set Button for more than 1 second.
 - The hour time will flash.
2. During flashing (about 5 seconds), press the Up or Down Button to set the hour.
 - Pay attention to “PM” or “AM”.
3. Press the Time Set Button to flash the minute display.
4. During flashing, press the Up or Down Button to set the minute.
5. Press the Time Set Button to complete the setting.
 - The Second Indicator will start flashing.

Radio/TV Reception

Using the Area Bank Function

(See pages 12–13.)

Area Bank function allows you to easily listen to previously memorized stations in any of the regions Tokyo, Nagoya, Osaka, Sapporo, Sendai, Hiroshima, Fukuoka, and JR (those JR shinkansen lines equipped with on-board FM broadcasts).

Preparation: A; hold off
B; power off

1. Press the Area Button to select the area number. (See the chart on page 12.)
2. Press the Power Button to turn on.
3. Press the Band Button to select the desired band.
4. Press the Memory Select Button to select the desired Memory Channel. (See the table chart on pages 14–15.)

Area Memory Function (See pages 16–17.)

In addition to its previously memorized stations, the area bank function has a function to allow adding an additional station in each the AM, FM and TV bands. This is convenient for memorizing newly opened stations.

Preparation: A; hold off

B; After selecting the area number except “F” and “8”, turn the power on.

1. Press the Band Button to select the band.
2. Press the Memory Button.
 - The Memory Indicator will flash.
3. During flashing, press the Up or Down Button to set the desired station.
4. During the Memory Indicator flashing, press the Memory Button to complete the entering.

Without using the Area Bank

How to tune (See pages 18–19.)

Preparation: A; hold off

B; power off

1. Press the Area Button to set the “F (free area)”.
2. Press the Power Button to turn on the radio.
3. Press the Band Button to set the band.
4. Press the Up or Down Button to receive the desired station.

How to memorize the broadcasting station

(See pages 20–21, upper.)

Preparation: A; hold off

B; area number “F”

C; receiving the station to be memorized

1. Press the Memory Button.
 - The Memory Indicator will flash.
2. During flashing, press the Memory Select Button to select the memory channel to be memorized at.
3. During the Memory Indicator flashing, press the Memory Button to complete the entering.

How to listen to the memorized station

(See pages 20–21, lower.)

Preparation: A; hold off

B; power off

1. Press the Area Button to select the “F”.
2. Press the Power Button to turn on the radio.
3. Press the Band Button to select the desired band.
4. Press the Memory Select Button to tune the desired station.

How to delete the unnecessary memory channel

(See pages 22–23.)

Preparation: A; hold off

B; After selecting the area number “F”,
turn the power on.

1. Press the Band Button to select the band.
2. Press the Memory Select Button to select the memory channel to be erased.
3. Press the Memory Button.
 - The Memory Indicator will flash.
4. During flashing, press the Up and Down Buttons at the same time.
 - The Memory Indicator will flash.
5. During flashing, press the Memory Button again to complete the erasing.

Using the My Station Function

(See pages 24–25.)

If you memorize your favorite one station as My Station, you can receive it by only pressing the My Station Button. You don't have to select the area or memory channel.

How to memorize into My Station (See the Fig. 1)

Preparation: A; hold off

B; power on

C; receiving the station to be memorized

1. Press the Memory Button.
 - The Memory Indicator will flash.
2. During flashing, press the My Station Button.
 - The My Station Indicator will flash.
3. During flashing, press the Memory Button to complete the entering.

How to listen to My Station (See the Fig. 2.)

After turning the power on, press the My Station Button.

- The My Station Indicator will light.
- To change the listening station (My Station) to another one, press the My Station Button while the power turns on, to go off the My Station Indicator.

When using overseas (See pages 28–29.)

This unit can be used overseas (only AM/FM) on AM 9 kHz area, but in case of AM 10 kHz area, operate as follows;

1. Remove the batteries.
 - The Battery Consumption Indicator will flash after a while.
2. Install the batteries while pressing the Memory Select Button and Band Button at the same time.
 - Selecting the frequency, memorized stations will be canceled.

How to return to the original setting (AM 9 kHz)

After removing the batteries, leave the unit until no indication is on the display.

Using the Alarm

The beep sounds will be heard for three minutes when the preset time elapses.

How to set (See the pages 30–31.)

Preparation: A; hold off

B; no Alarm Indicator

1. Press the Alarm Button for more than 1 second.
 - The Alarm time and Alarm Indicator will appear and flash.
2. While flashing, press the Up or Down Button to set the desired time.
3. Press the Alarm Button again within 5 seconds to complete the setting.

To cancel the alarm, press the Alarm Button and go out the Alarm Indicator.

Using the Standby Alarm

The beep sounds will be heard for three minutes when the preset time comes.

How to set (See the pages 32–33.)

Preparation: A; hold off

B; after completing the time setting

C; power off

D; no Standby Indicator

1. Press the Standby Button more than 1 second.
 - The Standby Indicator will flash.
2. During flashing, press the Up or Down Button to set hour.
 - The hour will flash.
3. During flashing, press the Standby Button.
 - The minute will flash
4. During flashing, press the Up or Down Button to set minute.
5. Press the Standby Button again within 5 seconds to complete the setting.

To cancel the standby alarm, press the Standby Button and go out the Standby Indicator.

To stop the alarming beeps, press any of the operation buttons.

Remote Control Operation

The operation can be changed, depending on how and how many times the Remote Control Button on the included earphone is pressed in sequence.

To turn on Press once.
To change the memory channel Press once.
To change the receiving band Press twice.
To turn off Press and hold for
more than
1 second.

Specification

Frequency TV; 1~12ch
Range: FM; 76~108 MHz
 AM; 522~1629 kHz (at 9 kHz)
 520~1710 kHz (at 10 kHz)

Speaker: 3.6 cm
Output Jack: Earphone
Power Output: 100 mW
Power
Requirement: DC 3 V
Dimensions: 55×98.5×16.2 mm
Weight: 85 g (with batteries)

Design and Specifications are subject to change without notice.

Please consult the shop at which you have purchased the set about warranty and service.

便利メモ (おぼえのために、記入されると便利です。)

ご購入年月日	年 月 日	品番	RF-H760
ご購入店名	電話 ()	—	
最寄りの ご相談窓口	電話 ()	—	

松下電器産業株式会社 オーディオ事業部

〒571 大阪府門真市松生町1番4号 ☎(06)909-1021

Matsushita Electric Industrial Co., Ltd. Audio Division

1-4 Matsuo-cho, Kadoma City, Osaka, Japan 571 ☎(06)909-1021

Printed in Japan

RQT0755-1S

F0990U4081